

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2017年11月1日 170号  
世界平和地球村の建設と自然環境の保護

## 第17回国際協力青年奉仕隊

★ レダ編 ★



乗馬体験を終えて。レダ農場、8月31日午後5時5分



パクーの養殖池に首まで浸かって収穫。



タロイモを陸に引き上げる。とても重い。



アオボウシンコ2羽を肩に乗せたら...

**研鑽と体験学習で大器となれ！**

本紙先号で、第十七回国際協力青年奉仕隊の歩みの前半である、オリンポにおける奉仕活動についてお伝えしました。今号では、それに続くレダ基地における諸活動と、帰国するまでの歩みをお伝えします。

二十九日 オリンポからボートでレダに到着した奉仕隊。川岸で中田所長とレダのスタッフが笑顔で迎えてくれる。一同トラックの荷台に乗って宿所に。ここで衣類の洗濯を一気にやつてしまつた。ブームに飛び込む者もいて、青年たちの力は尽きない。

三十日 佐野氏より、レダプロジェクトの意義・歴史・展望について講義を受ける。次いで、中田所長の案内でレダの施設と活動現場見学ツアー。研修所、公館、ゲストハウス、パンタナール研究所、食品工房、養殖施設、農場、工事中の動物公園などを次々と見学。レダで長く重責を担ってきた所長の言葉が、青年たちの純な心を打つた。午後は豚ランドへ。名物、豚の大集合シンを見る。抱っこした仔豚は目に安心の色。次は斧を手に、増えすぎたヤシを伐採。手には血マメ。初期の開拓精神を追体験した。

三十一日 中田所長の講話「夢があつて次いでタロイモ収穫体験。泥田に入り、タロイモの旺盛な生命力を実感しつつ、技も、やりたいと思っているだけでは成せない。成すには、ひたすら自分を磨くこと。」

午後はパクーの養殖池で漁労体験。池幅いっぱいの網を大勢の手で持ち、猛魚を対岸に追い込む。体が浮いても必死で網を抑え、健康に成長したパクーを陸に上げる。さらに包丁を手に内臓を除去、商品化した。最後は乗馬体験。始めは牧童に手綱を引いてもらう。二周目は自ら手綱を取り、人馬一体、農場内を駆け巡った。（次面に続く）





## 日・パ青年スポーツ交流。シート！



アソシエーションでもたちまち一つになる。



レダの夕日に遊ぶ乙女たち。



鳥の公園でオニオオハシとともに。



## 世界文化遺産トリニダーの聖堂跡へ。



ラパス日本人会を訪問。奥中央に田岡氏。



abc新聞社の記者が奉仕隊員にインタビュー。



日本学校の朝礼に招待される。



世界自然遺産イグアスの滝を見学。

# 奉仕隊員の感想文（レダ編・抜粋）

●レダでは、自然・動物・植物に触れて行く中で、今まで当たり前と思つてのことでも「なぜ」ということを考へることが多くあります。なぜ動物がいるのか、なぜ色鮮やかに花が咲いているのだろうかといふように探求して行くと、それは私たち人間が喜んで楽しむためであることを感じました。普段日本の地では考へないことを経験できたことは、私にとって大きなことでした。(21男) ●不毛の地、地獄の中の地獄とも言われて、いたレダが、18年間で開拓がとて、も進み、福地が現れてきたことにびっくりしました。そこには先輩たちが不屈の精神で歩んでもらった、その魂が宿つていました。私たちはこの先輩方の夢を壊さず、継承して行くべき使命を感じました。とどまることのない開拓を、未来の子孫たちに残してあげられるように努力して行きたいです。(21女) ●レダでは何もかもが感動で、自然の中でただひたすらに自然を眺め、自然に触れることが全て感謝でした。きれいに咲き乱れるラバーチョの花、鳥たちのさえずりと舞い、愛らしい顔としぐさのカピバラ。これが私(神様)が創つた最高のプレゼントだ、と言わんばかり。地平線を燃やすような日の出、日の入り、そして満天の星。毎日が神様の懐の中にいるような温かさを感じました。猛烈な勢いでエサを食む豚、そして乗馬。嫌な気持ち一つなく、ただただ楽しんでいる自分。すべて神様が私たちを喜ばせるために創造なさつたのだということを実感しました。(21男) ●レダで感じたことの一つは、動物への感謝です。馬に乗つているときに、私は馬と一緒になつてゐる気がして、

走つてほしいときに走つてくれ、曲がつてほしいときに曲がつてくれ、少し速度を出し過ぎて怖いと感じた時には速度を落としてくれました。馬から下りた時は、心から馬への感謝の気持ちがありました。(22男) ●レダは写真で見たことは何度かあつたけど、実際に来てとても感激しました。レダ基地の見学では、本当に何もないところから造つたんだよね!と疑つてしまふくらい素晴らしいものばかり。築いてこられた先生方の底力、強靭な精神にど肝を抜かれました。タロイモの根の團結力。パクターの養殖池の深さ。魚をさばいて知る命の尊さ。カピバラを触り気づく毛の強さ、でも臆病者、だくこと。釣りを通して、自らの課題に直面したこと。それが一人の先生の一言で救われたこと。トランクの荷台に乗り、広い大地を見ながら感じた風の心地よさ。自然がすべて教えてくれました。(23女) ●レダでの体験は一つ一つが新鮮で、一つ一つが喜びでした。生きるって素晴らしいことだと純粹に感じました。(27男) ●レダの地で、豊かな自然を見て心が洗わされました。創造されたままの姿はあまりにも美しく、それが私たち人間のためであり、天の愛であると知った時に、現代の人間はその愛を本当に知ることなく、自分たちのためばかりに生き過ぎてしまつていると思いました。ここは自然を見て涙することができる、そんな場所だと思いました。何事もあきらめず、良い事も悪い事もすべて飲み込む、そのような精神がここにありました。美しい自然にあって、なお美しい兄弟姉妹なる仲間たちも再発見しました。(23女)

## 第二十回環境問題研究会セミナー開催

# レダ開拓十八周年記念集会を開催

九月二十三日秋分の日、午後一時半より、大山街道ふるさと館三階研修室において、第二十回環境問題研究会セミナーを開催しました。テーマは「将来の気候はどうなるか—異常気象と地球温暖化」、講師は気象業務支援センター・地球環境・気候研究推進室長の鬼頭昭雄先生。参加者は四十八名でした。鬼



語る鬼頭昭雄先生。

著気象現象は毎年のように起つてゐる」「過去八  
十万年間の大気中二酸化炭素濃度と将来シナリオ」  
「二酸化炭素濃度の増加と海洋酸性化」「IPCC  
評価報告書が世界的な行動計画に大きな影響を与えた  
てきた」等々。そして今後私たちの地球の気候がどう  
のようになつていくか、どんな災害が予想され、脆  
弱性を減らすのにはどのような手段が有効か、など  
緊張感のある内容が多くありました。最後に質疑応  
答と、恒例の記念撮影をして和やかに閉会しました。

の動機と構想を知つて感動し、期待されるようになつりました。そしてその原点となつてゐるのがレダに生きる人々の内的心情と精誠ではないかと確信し、中田所長とレダ基地のスタッフ各人の日常活動と、個性ある生活の一端を紹介しました。また日本に一時帰国中の大山哲夫氏も、豚ランドほか、レダの本拠地を報告しました。[耳



十月八日午前十一時より、大山街道ふるさと館一階イベントホールにおいて、「レダ開拓十八周年記念集会」が持たれました。メインは開拓の始めから継続してレダとアスンションで献身的な歩みをして来た佐野道准氏の報告。レダプロジェクト創始の原点を再確認し、最近のエビソードを語り、エビ養殖ほか今後の展望を、集つた多くの会員・支援者と共有しました。近年は、国家的・人物をはじめ世界各地からの訪問者が増え、レダの姿を直接見て、またそ



佐野道准氏



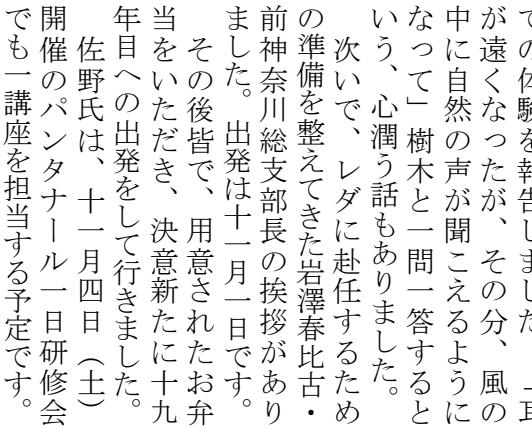
大山哲夫氏



岸澤春比古氏

The image is a composite of three parts. The top left is a flowchart showing the Earth's energy balance: Solar radiation (500 W/m²) enters the atmosphere, with 342 W/m² reaching the surface and 235 W/m² leaving as longwave radiation. The top right is a cross-section of Earth's atmosphere showing various layers and greenhouse gases (CO₂, CH₄, N₂O, O₃) trapping heat. The bottom is a group photo of approximately 30 people at a seminar, with a banner in the foreground reading: '第20回 地球温暖化研究会セミナー 「将来の気候はどうなるのか-異常気象と地球温暖化-」 講師 朝堀 雄一 氏' (20th Seminar on Global Warming Research Seminar 'What will the climate be like in the future - Abnormal Weather and Global Warming -' Speaker: Professor Yuichi Asahara).

講義終了後、恒例の記念撮影。9月23日



一般社団法人  
南北米福地開発協会 事務局  
〒213-0001  
神奈川県川崎市高津区  
溝口3-11-15  
岩崎ビル4F  
電話: 044-829-2821  
FAX: 044-829-2820

ゆうちょ銀行 (旧一般会員会費納入)  
記号10280 番号61349751  
一般社団法人南北米福地開発協会

E-メール: office@asd-nsa.com  
ホームページ: asd-nsa.com

## 会員種別

◆会員一口1000円／月

◆特別会員一口1万円／月

♦法人会員一口1万円／月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。  
会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名：シャ）南北米福地開発協会  
入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

◆入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。

## お便り募集



読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。

宛て先は、事務局  
office@asd-nsa.com  
へお願いします。